

113

尚ほ本日の夕飯に味噌汁が添へられたが、右は野村大使からの見舞品の一端である。傳へられる。

March 24 (Tuesday)

Main Hospital (ルカ) 中の坪井君は甚だ病状漸く順調にて、退院も意々はある。此の半である。各員一同大に喜んでゐる。尚ほ村岡無病の病勢は更に改善されず悪化されてゐる。又タマから到着間もなく悪性感冒に罹り、肺炎の怖れあり入院して七十一歳の身氏は、危険状態にある。同氏は拘引直前までは頗る健在だったが、汽車旅行に當り、寝台を占められず、不眠の苦途を余儀なくされた結果、遂に此の厄に罹る。胃を弱めたのか原因は不明。

本日の The Daily Missionia によると、南米以来米國は砂糖の不足をきつて、統制を已むに至つてゐる。昨 1941 年度に於ける全國民の消費量は、合計 7,500,000 tons であるが、今年は之れを 4,000,000 tons に統制する事になった。フィリピン島からの 1,000,000 tons は其の甚だしく、ハワイの其は労働力の欠乏により之を供給が断れし。キューバからの砂糖は米に一般供給を妨げようとする精製されてゐる。此の報に於ては、

又景に到り、霞を見たら向もさうやんだ。

遠山の春霞、柳の、墨絵のやうな美しい風景も思ふ程と云つて灰塵に化してつたのも、大陸

園地の風情とにあらん珍しいものだ。

夜、歯痛のためヤマトラーから度々手電を受けた。

March 25 (Wednesday)

南キャンプへ皆が収容の月と成ってから、あと三日で全う三ヶ月になる。多くの人が無為に暮らしている裡に、外界の状況は刻々と変化し、車洋方面は多くの方面に、恒久平和確立の希望に満ちては、新島の報前ル依もと、日中から橋いTV ニューギニア島に於ける金礦は、既に日中側の手に依り、着々完掘と續け年額六千万円と豫想されてゐると傳ふ。然るに英米側の如くは、日々國民生活のしる辛刻さ手がかかり、前途暗澹たるものが豫想されてゐる。

おかせ五番目の諸君はいかん、昨今は多少の平和と寛裕がきざに來たと言ふものの、尚ほ焦燥と競争の未練とが心の底に燃へつゝあると共に、其れが表面に暴露され、痛々しさも、尚ほ治と連日の如く、機に度々時に臨んでは其現れは、悲痛であらば、また同情に堪へぬものがある。

茲らで、おかせ五番目に於ける、お市お身を中心に諸君のProfileも、畫々々々も、吾人の生活方面と織り且つ記念する上、萬更意味深い事には無いかと思ふ。

誰れも今は、稍々冷静と傳ふ得るに到つたことは若干認め得るか、神経が極度に尖つて、無比の